

## 町職員野球大会で球場アナウンスに挑戦

「第73回北空知町職員野球大会」が6月11日、沼田町内の球場で開かれ、事務局・妹背牛町のベトナム人地域おこし協力隊のホー・ティ・ヌー・クインさんとファム・ティ・モさんの2人が放送係として球場アナウンスに挑戦しました。

大会には、近隣4町の野球チームが出場。「野球は日本のアニメで知っている程度です」と打ち明ける2人ですが、原稿を読む練習や事前の試合見学が奏功し、「1番、サード、〇〇くん」とスムーズに試合を進行しました。

選手交代やオーダー用紙の提出を求める放送もこなした2人は時折、ベトナム語に言い換えた選手紹介で場内を和ませる場面も。北口総務課長から守備位置の発音について教えてもらいながら、野球のルールや日本の数字についても学びました。

バックネット裏の放送室で試合を観戦した2人は、「選手の皆さんの動きや表情を近くで見ることができて、野球のイメージが湧きました」と笑顔。



球場アナウンスで選手を紹介するモさん（右）と試合の様子を見つめるヌーさん。左は、2人をサポートする北口総務課長

ヌーさんは「応援席で見学した時よりも試合の雰囲気がよく分かりました」、モさんは「職員の皆さんが優しく教えてくれたので、心配していた部分も上手にできました」と、満足そうに話しました。

なお、空知管内の北空知地区予選を兼ねた大会では、妹背牛町役場の野球部が見事優勝し、8月27日に北空知管内で開かれる決勝大会に駒を進めました。

ベトナムの首都ハノイのバス



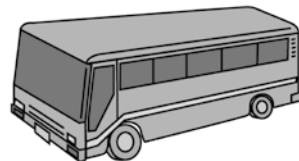
## ベトナムコーナー VIETNAM CORNER

地域おこし協力隊：  
ヌー／モ

ヌーです。今回は日本に来て、経験したことをお話ししたいと思います。

日本に来たばかりの私はバスに乗るとき、右側に立って待っていました。ところが、時刻表通りの時間になっても、バスは来なかったのです。「何だろう？遅いな。日本のバスはいつも時刻表通りに来るのに」と思いました。ふと向こうの道を見ると、動き出すバスがちらっと見えて、すぐに待つ場所を間違ったことに気づきました。

ベトナムでは右側を走行していて、バス停も右側に設定されています。しかし、日本では左側を走行していることを思い出しました。それから、すぐに向こうのバス停へ走りました。



妹背牛町で初めて列車に乗ったとき、恥ずかしいことがありました。列車の中に入ろうと思いましたが、ドアを何回も前後に押したり引いたりしても開かなかったのです。びっくりしました。さっき、ほかの人が降りるときにドアが開くのを見たのに。私は「え？乗せたくないの？」と思いました。後ろを振り向いて、運転手と目が合いました。

それから、教えてもらった動作の通りにすると、ずっとドアが開きました。ドアはレバーハンドルを押して開けるのではなく、左から右に引いて開けることだとわかりました。



### ベトナム語コーナー

バス：xe buýt（セビユット） 列車：tàu hỏa（タウホア）または tàu lửa（タウルア）